

産学連携学会金沢大会エクスカーション
輪島・七尾

令和8年
6月20日(土)
午前8時金沢駅出発
30名程度先着順
無料(昼食代のみ
自己負担)

語り部と訪ねる 能登の旅

現地から学び、
復興の力に触れ、
未来へつなぐ



エクスカーション専用
参加申込フォーム QR



穴水⇒七尾 のと鉄道震災語り部観光列車



七尾視察
能登食彩市場 一本杉通り



輪島視察
重蔵神社



出張朝市



輪島視察
輪島朝市震災遺構

産学連携学会 金沢大会エクスカージョン

令和6年能登半島地震から2年半。報道が少なくなるにつれ、震災の記憶は薄れ「もう復興しているのでは」というイメージも広がっています。しかし、実際の能登には復興へ歩み始めた地域もあれば、いまだ厳しい状況が続く地域もあります。

今回のエクスカージョンツアーでは、産学連携に携わる皆さまとともに、被災地の“今”を見て、聞いて、感じていただきます。現地の取り組みや人々の営みに触れることは、復旧・復興への理解を深めるだけでなく、今後の技術開発や社会実装、大学シーズやスタートアップ創出にもつながります。

能登の現状を知り、未来に向けた支援や連携の可能性を考えるきっかけとなることを願って企画しました。短い旅ですが、現地の語り部とともに訪れる能登の旅に、ぜひご参加ください。

●エクスカージョン申込先

参加を希望される方は、専用Webフォームよりお申込みください。

<https://forms.office.com/r/5vSUK2t0F3>

募集定員：30名程度（先着順）

※お申し込みは、産学連携学会 金沢大会
参加登録済みの方 限定とさせていただきます。



—お問い合わせ先—

産学連携学会 第24回大会 金沢大会実行委員会事務局
北陸先端科学技術大学院大学 未来創造イノベーション推進本部内
担当：中田・児嶋

Mail : sangaku2026kanazawa@ml.jaist.ac.jp

旅程表

産学連携学会 金沢大会エクスカージョン（日帰り）

ご旅行方面：七尾市・輪島市

ご旅行期間：2026年6月20日（土）～2026年6月20日（土）

ご参加人数：30名様（添乗員1人）

ご集合場所：金沢駅金沢港口（西口）（7:50集合）

日次	月日曜	行程				食事		
1	6/20(土)	金沢駅	08:00	金沢大学 未来知実証センター	08:20 09:00	出張輪島朝市 (ワイプラザ)	11:00 11:30	朝：— 昼：○ 夕：—
		重蔵神社 輪島震災遺構まち歩き	11:35 12:20	昼食（芽吹）	12:25 13:15	六水⇒和倉温泉のと鉄道 震災語り部観光列車	(14:00) 14:14 14:58 (15:00)	
		和倉温泉 護岸復旧工事等見学	15:10 15:40	一本杉通りまち歩き 七尾 能登食祭市場	16:00 17:00	和倉温泉駅	17:15	
						金沢駅	18:30 (予定)	
※交通事情により、各出発/滞在/到着時間が前後する場合があります。								

※自己手配で和倉温泉にご宿泊される方は
和倉温泉駅での下車・解散も可能です。

金沢大学 未来知実証センター



金沢大学角間キャンパス内に令和7年3月に竣工した「未来知実証センター」は、金沢大学の文理医融合研究から生まれた知を形にし、新たな未来価値を創出するための活動拠点です。

輪島朝市



輪島の朝市は、千年の歴史を受け継ぐ日本でも特に古い朝市です。重蔵神社の参道から続く朝市通りには、毎朝たくさん露店が並び、昔ながらのにぎわいが広がります。平安時代の神社の市から始まり、時代とともに形を変えながら、今も変わらず人々に親しまれています。

重蔵神社



重蔵神社は、輪島市の中心・河井町に鎮座する歴史ある神社です。平安時代の「延喜式」に名を残す古社で、輪島塗の起源や朝市の発祥にもゆかりのある、地域を見守ってきた大切な存在です。

一本杉通り商店街



石川県七尾市の「一本杉通り」は、約600年前、街道沿いに立っていた一本の大きな杉の木が由来です。旅人や地元の人々が“出会いの一本杉”として親しんだこの場所は、やがて人々が行き交う交流の場となり、その名が通りの名前として受け継がれています。

※本エクスカージョンツアーのプログラムは、石川県観光連盟の「いしかわ文化観光コンテンツ造成支援事業」の採択を受けた北陸先端科学技術大学院大学と輪島ファーストベンチンの共同研究「重蔵神社が保有する縁起・歴史等の有形無形文化財や歴史的資料の復興・再構築とコンテンツ造成のための場の形成を目的として、産学連携部門のネットワークや産学連携の場の理論を適応した共同研究」の成果として企画・構成いたしました。